

施策評価シート《マネジメントシート》

施策名	健康対策と医療体制の充実			
施策の体系	基本目標	ひとを育むまち	施策の主担当課名	地域福祉課
	基本施策	ライフステージ支援プロジェクト	関係課名	環境課
	施策コード	B-3-5		

① 施策の現状と課題	<p>近年、生活様式の多様化などにより、食の欧米化や不規則な食事時間、夜型生活の進行、運動習慣の不足など適正な生活習慣が保てず、健康への影響が危惧されています。また社会環境の複雑化、高齢者人口の増加等により、生活習慣病や精神疾患、医療費の増大等が社会的課題となっています。</p> <p>本市では、平成20年度から始まった内臓脂肪型肥満に着目した特定健診、特定保健指導に力を入れ、生活習慣の改善を行うため、内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）該当者及びその予備群に対し、運動習慣の定着やバランスのとれた食生活を指導しています。</p> <p>今後は、地域保健の視点に立ち、健康課題の精査・分析を行い、その健康課題解決に向けてPDCA手法を確立し、市民・行政・各関係機関が連携・協力して市民の主体的な取組みを基本とした生涯にわたる心と体の健康づくりを推進するとともに、特定健診やがん検診の充実により疾病の予防と早期発見に努める必要があります。それに併せて、専門職員の雇用及び配置のあり方の検討を十分に行う必要があります。</p> <p>医療体制については、医療機関との一層の連携により、適切な受診やかかりつけ医の必要性を啓発するとともに、休日・夜間など緊急時に安心して医療が受けられる休日・夜間急患センターの充実を図る必要があります。</p>
② 施策の基本方針	『自分の健康は自分で守る』という意識の高揚に努め、市民一人ひとりのライフステージに応じた保健活動を推進するとともに、各関係機関が連携・協力して適切な医療に導くための環境づくりに努めます。

③ 施策の内容 (主要施策)	<b>主要施策名(1) 行橋市地域保健計画の推進</b> 平成24年度に策定した「行橋市地域保健計画」に基づき、重点施策を中心として保健施策の推進に努めます。
	<b>主要施策名(2) 特定健診・がん検診の受診率向上</b> 特定健診やがん検診の受診機会を増やし、健診に関する情報提供や必要性の周知徹底を行い、受診率向上に努めます。
	<b>主要施策名(3) 生活習慣病予防の促進</b> 生活習慣病にかかるリスクが高い内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）該当者や予備群に対し、生活習慣病についての知識提供や運動・栄養に関する指導を行い、生活習慣病予防の促進に努めます。
	<b>主要施策名(4) 健康づくり組織の育成、支援</b> 『自分の健康は、自分で守る』という意識をもち、それぞれが健康づくり活動に取り組みるように、健康づくり組織の育成・支援を推進します。
	<b>主要施策名(5) 医療費の適正化に向けた取組み</b> 医療費増の一因である生活習慣病を予防することを重視した特定健診と特定保健指導を充実・強化することで医療費の適正化を図ります。
	<b>主要施策名(6) 医療体制の強化</b> 適切な診療やかかりつけ医の必要性を啓発し、休日・夜間など緊急時に安心して適切な医療が受けられるように、京都医師会と連携して休日・夜間急患センターの充実を図ります。 また、東九州自動車道行橋インターチェンジの開通により、二次救急では対応できない重篤な疾患等に対する三次救急病院へのスムーズな搬送につなげます。

④ 目標指標	指標名(単位)	過年度実績				評価年度	目標値		達成度の説明（H26年度）
		H22年度	H23年度	H24年度	H25年度		H26年度	H27年度	
目標指標	特定健診受診率(%)	26.0	26.9	32.8	31.3	33.3 (暫定)	42.0	45.0	健診実施期間を延長したこともあり受診率が向上しました。今後も受診しやすい環境づくり等に努め、受診率向上を目指します。
	特定保健指導の指導率(%)	35.2	37.4	37.4	36.3	39.7	46.0	48.0	保健指導レベルに応じて集団・個別での実施を行っています。また、電話や訪問など様々なアプローチ方法で指導率の向上を目指しています。
	がん検診受診率(%)	6.8	12.9	12.8	13.2	13.9	17.0	19.0	検診回数の増、乳がん検診にエコー法導入等により受診率がアップしています。
	内臓脂肪症候群該当者の減少率(%)	11.6	23.9	26.6	23.1	24.5	25.0	25.0	結果説明会や保健指導時に、内臓脂肪症候群とそれに伴う生活習慣病について重点的に説明し、各人が生活習慣の改善につながる働きかけをしています。
		H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	

⑤ 施策構成 事務事業	事務事業名	事務事業の内容	事業費（人件費込、単位：千円）			優先順位
			H25年度実績値	H26年度実績値	H27年度見込額	
1	狂犬病予防対策事業	集団予防接種を行い注射済証の発行と、飼い主に対し義務化の周知を実施	407	407	404	13
2	老朽施設更新事業出資事業	老朽水道施設更新に対する出資を実施	60,000	60,000	60,000	3
3	健康増進事業	基本健診・がん検診・歯科健診等の実施	28,529	29,859	33,703	1
4	京築広域市町村圏事務組合事業	休日夜間急患センター負担金。平日夜間・休祭日の診療を行うため行橋市・刈田町・みやこ町で設置。	39,600	39,907	39,300	10
5	食生活改善事業	栄養相談・指導、食生活改善推進員の育成・支援など	6,647	6,739	5,901	7
6	歯の健康フェア開催事業	行橋市・刈田町・みやこ町の持ち回りで京都歯科医師会と共に行う歯の健康展への負担金	5,330	4,930	4,860	12
7	がん検診推進事業	特定年齢の方へ大腸がん検診の無料クーポン券を配布し受診を促す	13,849	5,462	5,143	4
8	働く世代の女性支援のためのがん検診未受診者対策緊急支援事業	子宮頸がん・乳がん検診未受診の特定年齢の方へ子宮頸がん・乳がん検診の無料クーポン券を配布し受診を促す	-	-	7,483	6
9	新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業	特定年齢の方へ子宮頸がん・乳がん検診の無料クーポン券を配布し受診を促す	-	-	4,264	5
10	地域自殺対策緊急基金事業	自殺予防と地域が見守る体制づくり（～H26）	4,110	3,321	0	-
11	地域保健計画推進事業	地域保健計画を推進するための進行管理	3,756	3,720	3,156	2
12	在宅当番医制運営事業	行橋市・刈田町・みやこ町で在宅当番医制の調整・実施、救急医療情報提供事業を実施	3,021	3,028	2,753	11
13	健康づくり予防接種事業	高齢者へのインフルエンザ予防接種の実施	32,985	34,923	34,312	8
14	成人用肺炎球菌予防接種事業	高齢者への肺炎球菌予防接種の実施	-	18,831	22,574	9

⑥ 施策全体の今後の方針と展望 (主要部長の意見)	生活習慣病の改善を図り、医療費の適正化を推進するためには、特定健診やがん検診の受診率の向上を図る必要がある。 特に、がん検診の受診率は低いので、今後は、特定健診と同じように、集団検診だけでなく、個別検診も出来るよう、医師会とも協議し、受診率の向上に努めてまいります。 また、成人用肺炎球菌予防接種事業については、平成26年度から定期予防接種となり実施したところですが、当初予定していた以上に受診率が高かったため、平成27年度は、前年度の40%から75%を見込んで予算措置したところです。
---------------------------------	---

⑦ 総合計画審議会からの意見及び指摘事項等	高齢化社会の到来や食生活の変化、勤務時間の延長等様々な要因により、人々の健康状態への影響が危惧されており、それによる医療保障費が全国的に膨れ上がっている状況である。 そのような社会的要因の中で、この施策にある健康対策や医療体制を構築することで、病気を未然に防いだり、更には人々の体だけでなく心も元気にすることができると考える。また、病を発症した場合でも、早期発見することで大事に至らなかったというケースも多々あると思う。 また、特定保健指導の指導率やがん検診受診率が低迷化している現状を見つめ、受診率を向上させるために様々な取り組みを現在も実施されているようであるが、更なる取り組み強化をお願いしたい。がん検診の受診率を向上させるため、このような施策を充実・強化していくことが医療費の適正化を図っていくことになると考える。個別検診もできるように医師会と協議をしていくということなので期待している。
--------------------------	--

⑧ 施策に対する市の最終方針	がん検診については、子宮頸がん、乳がん検診において、平成28年度から集団検診に加え、医療機関で個別に受診できるよう医師会とも協議が整ったところです。特定健診については、未受診者対策として前年度の未受診者に電話やハガキで直接働きかけ、受診率の向上を図りましたが、結果として前年より若干の受診率の向上が見られました。今後も医師会のご協力もいただきながら受診率向上に向け取り組み強化を図っていくとともに、特定保健指導にも力を入れてまいります。
-------------------	--